

2020年度 事業助成申込書 <ボランティアグループ等が行う事業への助成>

貴財団の応募要項を承諾の上、以下のとおり「事業助成」に申し込みます。

なお、助成先として採用された場合、団体(個人)名、所在地、事業のテーマの公開に同意します。

また、当団体は反社会的勢力とは一切関わりがないことを宣言します。

フリガナ		シズ オカ フクシ フンカ コカンガシバカイ		団体 分類 (いずれかに チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ
① グループ・団体名		静岡福祉文化を考える会			<input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人
フリガナ		〒 425-0041 シズオカケンヤイス シ イニス			
② 所在地 (郵便物送付先)		静岡県焼津市石津 751-1			
③ 代表者	フリガナ	タケヒコ	ヒロ	アツシ	生 西 暦 年 月 日 1944 年 10
	役職・氏名	代表	平	田 厚	日中連絡先 (事務連絡者の 連絡不可時に使用)
	職業	無 職		Tel. 054-624-1924	
フリガナ	〒 425-0041 シズオカケンヤイス シ イニス		E-mail monoyusa-tomy@st		
住所	静岡県焼津市石津 751-1				
④ 事務 連絡者	フリガナ	ヒロ	アツシ	日中連絡先	
	氏名	平	田 厚	Tel.	同 上
⑤ 結成(設立)		1996 年 9 月	団体 構成員数	18 名	活動日数(回数) (年) 24 日
⑥ 添付書類 (該当項目にチェック)		<input checked="" type="checkbox"/> 見積書または価格表、および購入物のパンフレット(機器等の購入の場合は必ず添付してください) <input checked="" type="checkbox"/> 団体のパンフレット・チラシ <input checked="" type="checkbox"/> 前年度収支報告書 <input checked="" type="checkbox"/> その他(本会広報誌)			
グ ル ー プ ・ 団 体 の 概 要	⑦ 主な事業(活動) 内容	・結成以来24年間、市民主体の視点で「専門性と市民性の融合」「地 のフoces」「公開型の理論と実践の融合」を活動基調とし、課題攻 向け、県域の各団体との協働により、県民対象に事業に取り組んできた。 ・「高齢・失業者」「地域・家庭家族」「女性の復権」「ボランティア活動」「働 かぬ」「若年層の生きかた」「子どもと環境」「団塊の世代」「長寿者問題」「E 問題」「生活圏域の支えあい」「地域こども居場所」「豊かな地域社 会を創る地域づくり」を年次別活動テーマとし、現場セミナー、公開型研修会 活動などで展開し、その成果をSNSや関係団体へ提供して取り組むこと を要請し、若くは検証活動へとつなげてきた。			
	⑧ 今年度の 予算状況	会費年 1000 円 × 18 名 = 54,000 円 年 _____ 円 × _____ 名 = _____ 円 助成金・補助金 _____ 円 収益金(バザー等) 雑収入(利息) _____ 円 その他(前年度繰越金) _____ 円 合 計 71,845 円	※内容を簡潔に記入 1. 会場費 5.0 2. 消耗品費 29.8 3. 通信費 30.0 4. 印刷製本費 69.0 5. 団体経理金 2.0 (原簿加算費) 合 計 125.8		
⑨ これまでに受け た、または定期的 に受けている助 成等	助成団体名	助成年度	助成金額	助成内容	
	西沢の日本を創る協会	2019年度	50,000	子どもを創る地域づくり研究	
静岡福祉文化を考える会	2019年度	260,000	子どもを創る地域づくり研究		
当財団より助成を受けたことがありますか。				<input checked="" type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい	
受けたことがある場合は年度もご記入ください。					

申請する案件について

⑩ 申請区分 (いずれか一つをチェックする)

A. 在宅高齢者または在宅障がい者等の自助・自立の意欲を引き出し、または鼓舞する等その上に資する事業・費用

B. 在宅高齢者または在宅障がい者等と地域の人々が交流し支え合う、地域共生の仕組みづくり

C. 在宅高齢者または在宅障がい者等の福祉に関する事業をするために必要な機器・機材・備品等に関する事業・費用

⑪ 申請事業(活動)のテーマ(40字以内)

フながる・ささ之あり 近所再構築 - 近所福祉の復活検査

⑫ 事業(活動)内容と申請理由

各種制度改革により、社会が大きく変化し公助に依存した地域、市民の個人志向化、社会への希薄化に付随。本事業により、意欲とやる気とをもち、具体的な実践的取り組みにより、公助への提言と活動が実現し、地域づくりに向けに実践活動を展開する。

(1) 近所福祉と意識と実態調査の実施 (県内1000名回収努力)

(2) 「共創社会実現研究会」の設置と研究協賛 (期間中3回 8名構成)

(3) 若者発「近所福祉かきた」の作成と活用の手続きの作成

(4) 「近所再構築検証報告書」の作成 (200部発行し、県内研修会)

⑬ 事業(活動)の期間

開始 2020年 4月 1日 終了 2021年 3月

※⑩の申請区分C.の場合は、機器等の発注日(予定日)から整備完了日(予定日)までの期間を記入ください

⑭ 事業(活動)の目的・効果

1. 本会はこの4年間、活動基調を「専門性と市民性の融合」「公民連携学習の企画と実践」「それぞれの時代の福祉課題のフロンティアとして取り組み、県民への提言を通して、本事業に付いては、おける地域づくりに提唱し、高齢者や障害者等、全ての人が暮らしやすい地域環境を切り拓く

2. 近所福祉に関する調査結果を分析、若者の身近な生活に寄り添い、理解と関心、そして実践へつなげる。 (検証報告書の作成)

3. 5年前に若者の視点で、若者発「近所福祉かきた」と地域学習「目覚め」「つながり」「見とけ」して地域づくりにつなげる

⑮ 必要な費用の内訳 (助成申請案件に必要な費用が対象)

項目	単価(円)	数量	金
1. 近所福祉と意識と実態調査			
(1) 郵券(役務費)	84	150部 x 8回	3720
(2) 消耗品費(インク、エコー用紙、封筒)			89
2. 共創社会実現研究会設置 (謝金)	5000	5人 x 3回	7500
(旅費)	2000	5人 x 3回	3000
3. 若者発「近所福祉かきた」印刷製本費		100部 x 10冊	2800
4. 調査報告書・手引き書印刷製本費 (①)	500	200部	1000
(②)			
合計			56180
うち自主財源			6180
助成金希望額 (万円単位)			50

⑯ 他への助成申込

当事業(活動)について、他の助成団体への申込状況

あり(申込先)) : なし

(注) 1. 黒ボールペンによる手書きまたはパソコン入力により作成してください。
 2. ③代表者の印欄には必ず代表者の印鑑を押印ください。
 3. この申込書で選考しますので、必ず洩れなく合計2ページを郵送してください。
 4. 別紙「助成申込書の記入要領」を熟読のうえ記入してください。漏れが無いが提出の際にはもう一度確認のうえ提出してください。